



がじゅまる

本部町立瀬底小学校・幼稚園

Tel:0980-47-2208

fax:0980-47-6419

園児：5名 児童：57名

職員：16名

発行者：校長 山城 篤

家庭で子どもとの会話について

保護者の皆様、先日の台風の影響はなかったでしょうか。台風襲来の日、瀬底大橋から瀬底島を渡ろうとしたとき瀬底島が全く見えないくらいの霧がかかり、初めての経験で驚きでした。また、朝正門前であいさつや子どもたちに一声かけたりしています。その会話の中で、

校長「今日の霧すごかったねえ」 児童「前が見えなかったよ！」

校長「霧って何かわかる？」 児童「わからない・・・なに？」

校長「水蒸気からできているんだよ」 児童「ヘー はじめて知った！」

正確に言うと、霧は空気の中の水蒸気が冷えて目に見える粒になったものですが、朝の立哨中の何気ない会話なので、難しい話はしませんでした。

さて、話は変わりますが「家庭での教育」について今の会話の雰囲気から、少しお話をさせていただきます。

お子様は、家に帰ると宿題や自主学習を毎日しているのでしょうか？

どうやって教えたらいいかわからない、宿題しなさいと言ってはいるけど…などなど、ご家庭によって悩みは尽きないですね。そこで提案ですが、まずは「会話」から始めてはいかがでしょうか。



「今日、算数の授業で何を習ったの？」

「 3×2 だよ」



「どうやって計算するの、お母さんに教えて？」

「えーっとね。3が2つで…」

子どもに説明させることで、子どもは知識として理解していきます。理解していないと、説明はできません。

国語の物語文でも同じように、会話をします。

「今日、国語の〇〇物語どんな内容？」、「主人公どんな気持ちなの・お母さんだったらこう思うな」等、食事の準備中や車の移動中など色々方法はあると思いますが、大事なことは学校で学んだことを一緒になって会話することだと思います。

家庭での会話。まずはやってみてはいかがでしょうか。

児童朝会の様子

瀬底小学校みんなが仲良くするために企画委員会より発表がありました。

みんなが参加し、楽しく過ごせるように、計画してください。

